

# Logistics

Strategy toward COVID-19  
The Future of Logistics and Logistics facilities



## 「私たちに今、何ができるか？」

世界的なパンデミックを引き起こした新型コロナウイルス。

様々な分野で対策が練られてきている中、これまで物流・生産施設を数多く設計してきた私たちスペシャリストだからこそ提案できることは何か？を議論してきました。

今知恵を出し合い社会全体で見えない敵と戦う姿勢を持つことが、将来の新たな感染症への対策、設計品質の向上、さらには施設を利用されるすべての方々の生活の質向上に寄与できると考えています。

今回私たちは、物理的なソーシャルディスタンスの取り方や技術的な方策など4つのアプローチでその具体策を紹介します。

## 物流施設における4つの目標



Automation

自動化・IoTの活用

ウイルス対策及び人手不足対策として、マテハン機器の自動化導入や、IoTの活用、空調機器制御のAI化等を積極的に支援することで、無人化・省力化によるウイルスフリーサービスを提案します。



Contactless

非接触オペレーション

非接触端末の活用やセンサーや音声入力、ドアのタッチレス化等の導入とともに、施設内の動線計画の最適化・効率化を図り、非接触・非対面での荷受け等のオペレーションをバックアップします。



Sanitation

衛生管理・清掃への配慮

消毒スペース設置や、換気性能の向上等と併せ、清掃性に優れ、汚染時の交換が容易な仕上材や設備機器の採用等、従業員・ドライバーの感染リスクを軽減し、安全性の高い作業空間を提案します。



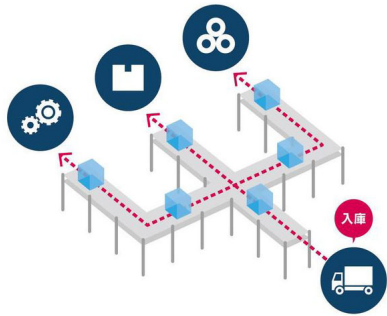
BCP

パンデミックを踏まえたBCP対策

パンデミック時のBCP対策として、従来の迅速な施設復旧を目指す手法に加え、物流サービスの段階的・部分的な機能停止に伴う作業動線の制限や小間仕切対応等、柔軟性の高い作業空間を提案します。

# 物流施設における 4 つの対策

## 01 Automation

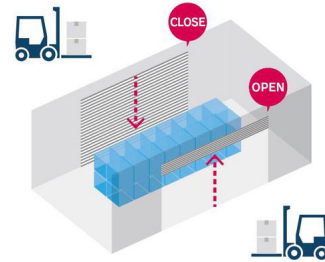


マテハン機器による自動化導入

### 自動化・IoT の活用

- マテハン機器の自動化導入
- IoT の活用
- 空調機器制御の AI 化
- 無人化・省力化

## 02 Contactless



バスボックス方式の非接触型前室

### 非接触オペレーション

- 非接触端末の活用
- センサーや音声入力
- ドアのタッチレス化
- 施設内の動線計画の最適化

## 03 Sanitation

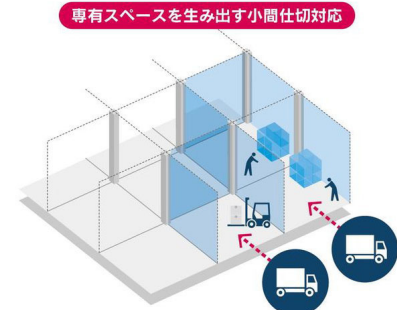


清掃性の良い仕上材

### 衛生管理・清掃への配慮

- 消毒スペース設置
- 作業空間の換気性能の向上
- 清掃性に優れた仕上材
- 交換が容易な設備機器

## 04 BCP



専有スペースを生み出す小間仕切対応

柔軟性の高い小間仕切対応

### パンデミックを踏まえた BCP 対策

- 迅速な施設復旧
- 作業動線の制限
- 小間仕切対応
- 柔軟性の高い作業空間

# Crematorium

Strategy toward COVID-19  
The Future of Cremation and Crematorium



## 「私たちに今、何ができるか？」

世界的なパンデミックを引き起こした新型コロナウイルス。

様々な分野で対策が練られてきている中、これまで斎場施設を数多く設計してきた私たちだからこそ提案できることは何か？を時間をかけて議論してきました。

今、知恵を出し合い社会全体で見えない敵と戦う姿勢を持つことが、将来の新たな感染症への対策、設計品質の向上、さらには施設を利用されるすべての方々の生活の質向上に寄与できると考えています。

今回私たちは、物理的なソーシャルディスタンスの取り方や技術的な方策など4つのアプローチでその具体策を紹介します。

## 斎場施設における 4 つの目標



Distance

距離感を意識した弾力的な空間

斎場施設には最後のお見送りに来られる会葬者の方が数多く来場される施設であり、そうしたシチュエーションはいかなる状況であっても変えることのできない大切な生活のワンシーンと考えます。

私たちはそうした葬送空間においてもソーシャルディスタンスを確保でき、安心して最後のお見送りにのぞめる空間を目指します。



Ventilation

閉塞性の高い空間の開放

従来では厳肅性や荘厳性の観点から開口部のない閉塞的な葬送空間が一般的でしたが、感染症対策の観点では閉塞的な空間は感染リスクを高める一つの要因になると分析しています。

私たちは葬送空間としての品格や相応しさを維持しながら、安全な室内空気環境を実現できる空間を目指します。



Split

安全性を備えた個別空間

近年、家族葬や直葬など葬儀に対する遺族会葬者ニーズの多様化に伴い、葬送空間に対してもプライバシーの高さが求められる傾向が強まっています。

私たちはこうしたニーズへ応える施設計画を行うことはもちろん、個別性の高さを活かし、会葬間の感染リスクを防止できる葬送空間を目指します。



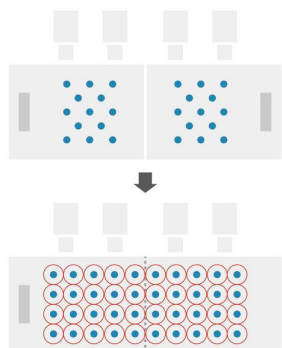
Remote

次世代の新しいお別れの演出

コロナウィルスの感染拡大に伴い、私たちの生活にも様々な変化が起きている中、スポーツ施設やコンサート施設など人が集まる施設やサービスに対する新たな試みが様々なところでスタートしています。

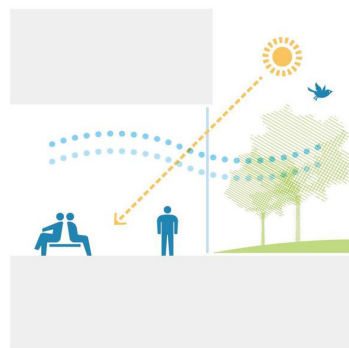
私たちは斎場施設も同様に新たな変化へ追従できるよう、様々な技術を視野に次世代の新しいお別れの演出を模索します。

## 斎場施設における 4 つの対策



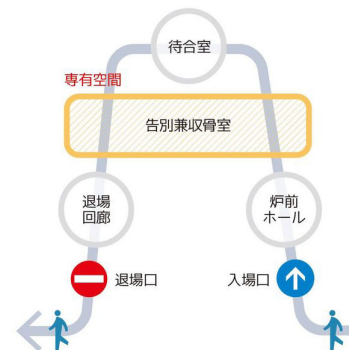
### 距離感を意識した弾力的な空間

会葬者どうしが密集しやすい告別室や収骨室においては移動間仕切りで 2 室を 1 室化して利用できる間仕切り構成とすることで、葬送空間においてもソーシャルディスタンスを確保でき、安心して最後のお見送りに臨める空間を提案します。



### 閉塞性の高い空間の開放

従来では厳粛性や荘厳性の観点から開口部のない閉塞的な葬送空間が一般的でしたが、中庭など外部に面する空間構成とすることで自然換気を含めた効率的オールフレッシュ換気を行い、安全な室内空気環境を実現できる空間を提案します。



### 安全性を備えた個別空間

近年の葬送空間へのプライバシーへのニーズと合わせ、専有性の高い告別収骨室や、他の会葬とすれ違うことのない一筆書きの一方通行動線で計画することで、会葬間の感染リスクを防止するとともに個性の高い葬送空間を提案します。



### 次世代の新しいお別れの演出

様々なオンラインサービスが普及しつつある中、斎場施設においても感染リスク低減と合わせて直葬や家族葬などの小規模葬儀ニーズへの対応や、遠方の方でも移動負担なくお見送りが可能なオンライン告別式を提案します。